

今夏は、7月中旬からまさしく酷暑と言ってよいほどの暑い日が続きました。世界遺産センターでは、この暑さを吹き飛ばすエネルギーで、7月からセンター「初」となるさまざまなイベントを開始しました。

今回は、そのひとつ「夏休み☆子供体験学習イベント」について紹介します。これは、夏休み中に小学4年生から中学生までを対象とした体験学習です。遺跡の発掘調査で出土した品々を洗浄し記録カードを作成する体験、陶磁器や着物の絵柄を真似たグッズ作り、江戸時代の貨幣や銀の重量計算や匁（もんめ）などの古い単位を使っ



2010. 8. 6 展示室内  
江戸時代中ごろまでの銀は重さによって  
価値が違ったことを学ぶ

て理クイズに挑戦をしました。

泥がついたままの出土遺物の水洗い、陶磁器の破片をジグソーパズルのように合わせたり、本物の天秤ばかりを使って重さをはかること(=写真)が楽しかったと語る子供たち。自分の手足を使った体験が、強く印象に残ったようです。

そして、普段は入ることができない調査研究室や収蔵庫などセンターの「裏側」で何をやっているか見学できたことが子供たちにとって大好評でした。今後、石見銀山に親しみを持ち、大人も子供も十分楽しめるこのような「バックヤードツアー」の企画も充実させていきたいと考えています。

**チェック!**

平成22年8月3日、世界遺産・石見銀山の範囲が拡大されました。これは、ブラジル国ブラジルで開催された第34回世界遺産委員会の決定によるもので、日本では初となるものです。

世界遺産登録時のイコモスからの指摘に応え、拡大した箇所は、大森銀山と温泉津の町並み保存地区そして2つの街道の一部で、87haが拡大され合計で約529haとなりました。この範囲拡大によって、より充実した遺跡の保全管理と活用ができることとなります。

【問】 石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183 ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

## 一 地域医療レポート 一

全国的な医師・看護師不足により、多くの病院で診療科の縮小や病院の閉鎖・廃止に追い込まれています。当市においても大田市立病院が、この4月から外科、整形外科の常勤医師が不在となっており、救急指定病院の告示を取り下げている状況にあります。お知り合いの中で、大田市の地域医療を支えていただけの方を、是非ともご紹介いただけますようお願いいたします。

このような難局を打開するため、今年度より、市民及び市立病院、市、市議会が協働して地域医療を守り育てるための様々な施策を実施して、地域医療対策に全力で取り組んでいます。今回はその中の取り組みの一部を紹介します。



### 大田市地域医療支援対策協議会の活動

各種団体、行政が連携して大田市における医療体制等の諸課題を協議検討し、地域医療支援対策のための各種事業を円滑かつ効果的に実施することを目的として、大田市地域医療支援対策協議会を設置しました。

今年度第1回目の協議会を5月に開催し、島根大学医学部地域医療支援学講座の谷口教授を講師に迎え、大田医療圏域の医師確保や育成に向け必要なことや、大田市立病院の医師不足の問題を説明いただきました。

また、地域医療を守るため、医師を「呼ぶ」「育てる」「守る」ために何をすべきか、何ができるかを、参加者とともに考えるために、10月24日(日)に島根県立男女共同参画センター「あすてらす」を会場に『地域医療シンポジウム』を開催しました。

### 大田市中学校医療講演会

医療の重要性と医師・看護師などの職業に関心を持ってもらうため、さらに、将来的に大田市からより多くの医療従事者を輩出し、地域の医療従事者の確保に結びつけるため、大田市内の中学生を対象に講演会を開催しています。

今年度は、7月9日(金)に島根大学医学部附属病院長小林祥泰先生を迎え、「仁摩中学校から大田市を元気にする地域医療人を！」と題して、大田市立仁摩中学校体育館で、生徒106人を対象に医療講演会を開催しました。

また、9月29日(水)に大田市立第三中学校において医療講演会を開催しました。

#### 問い合わせ

大田市役所健康保険年金課地域医療政策室  
☎0854-82-1600 (内線160)  
<http://www.city.ohda.lg.jp/4802.html>